

処理年度を必ず記入してください

			罗文: 別			に係	る総	合与所	得	皆異動届	出	年	E 度	(単年度) 年	度	両 : (年度) 年度) 年度
				給 特	所	在	世	-				特	別徴収義	務者指定	定番号				
	(宛先)茅ヶ	崎市長		与 別 変	(任	. 所)								宛 名	番号				
				払者義	フリ	ガ	ナ							担当者	所 属				
	年	月目	提出	日 我 務 者	名	称 ; 名)								連絡先	氏 名				
				伯			를 를				←個人 欄とし右	番号の場合に話めで記入	は、左端を空		電 話	内	- 線 (-)
給	フリガナ																-	は動後の	の未徴
与	氏 名						P)	(1)		(ウ)	異	動	異 動	j の	事自	Ħ		収額の復	
	生 年 月 日		年	月	日	特別徴 (年科		徴収剂	斉額	未徴収税額 (ア) - (イ)	年月	日	<i>2</i>	, .,	7 F	_	杤	記観の信 法	数 収 万
得	個 人 番 号																		
者	受給者番号							[]	から	月から		年		. 退職 . 転勤				1 特別	別徴収継続
													3	. 休職・	長欠				
	1 月 1 日 現在の住所							F	まで	月まで		月	5		〉額・ 不	定期		2. 一	古倒収 の場合不可)
											7			合併・その他			右から 番号を	3. 普遍	通徴収
	現 在 の住 所						円		円	Į.		日	記入 事	由·理由)	記入	(自	分で納付)
1.	特別徵収総		合 (車	云勤)	【職員	使用欄	書	電		新 /	1			J	月割額	1			
新智	特別徴収義指 定 番		合 (東	云勤)	【職員	使用欄 新規の場合 〇記入	書	電法人番		新	1				月割額				円を
新り	特別後収義指 定 番		合 (東	云勤)	【職員	新規の場合	書		号	所	1					分(翌	月10日糸	納入期限	 円を 分) から
新り	特別後収義指 定 番	務者 号 〒	合 (載	云勤) —	【職員	新規の場合	書		号 担当	所属	1			J	月 / 月 / /		月10日糸 納入しる		
新智	特別徴収義 指 定 番 所 在 地	務者	合 (東	云勤)	【職員	新規の場合	書		号 担当者	所	1				月 / 月 / /				
新しい勤務	特別後収養 特別 を 番 検別 を 番 が	務者 号 〒 1	合 (輔	一	【職員	新規の場合	書		号 担当者連絡	所属氏名電	1				月名 徴収 者番号 要否		納入しる 該当 番号を	ます。	
新しい勤務先	特別 牧 収 義 時間 定 番 リ 放 収 後 後 所 在 地 ス 後 る イ フ リ ガ 名 (氏 名	務者号 〒11		_		新規の場合 ○記入	書		号 担当者	所属氏名	1)	受給納入書の	月名 徴収 者番号 要否		納入しる	ます。	分) から
新しい勤務先	特別後収養 特別 を 番 検別 を 番 が	務者号 〒11		_		新規の場合 ○記入	書		担当者連絡先	所属 氏名 電話 内線	(徴収)	受給納入書の	月3 徴収者番号 要否のみ記入	又し、	納入しる。該当を番号へ	ます。	分) から
新しい勤務先	特別 牧 収 義 時間 定 番 リ 放 収 後 後 所 在 地 ス 後 る イ フ リ ガ 名 (氏 名	務者 男 〒 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	特徴未	世	を一括	新規の場合 ○記入	0	法人番	担当者連絡先	所属氏名電	(像収 (上記(ť	予定額 と同都	受給: 納入書の 新規の場合	月3 徴収者番号 要否のみ記入	又し、	納入しる 該当 番号を	ます。	分) から
新しい勤務先	特別 後収 義者 特別 定	務有 オー ナ (**********************************	特徴未	微収分 2月31日	・を一括 目までで、	新規の場合 ○記入 で 徴収) 一括徴収の	申出があっ	法人番	担当者連絡先	所属 氏名 電話 内線	(徴収 (上記 (<u>;</u>	予定額	受給: 納入書の 新規の場合	月3 徴収者番号 要否のみ記入	製収し、	納入しる 談当 番号を 記入	ます。 1. 必 な、 0日納入払	分)から
新しい勤務先 2 理	特別 微収 義指 定 番 所 在 地 所 在 地 名 (氏 名 名)	務有 オー ナ (**********************************	特徴未	微収分 2月31日	・を一括 目までで、	新規の場合 ○記入 で 徴収) 一括徴収の	申出があっ	法人番	担当者連絡先	所属 氏名 電話 内線	(後収(上記(ぐ	予定額	受給: 納入書の 新規の場合	月3 徴収者番号 要否のみ記入	製収し、	納入しる 該当を表記入 た税額に	ます。 1. 必 な、 0日納入払	分)から
新しい勤務先 2 理 由	特別 後収 整 特別 後収 を 特別 で 在 地 ア	務有 サ サ 場合 (動が 動が	特徴未 — ^{年1} — ^年 1	微収分 2月31日 月1日以 納付)	- を一括 日までで、 以降で、料	新規の場合 ○配入 で 徴収) 一括徴収の 行別徴収の組	申出があった	法人番かため出がないため	担当者連絡先	所属 氏名電話 内線	((上記(5) 予定額 う)と同額	受給:納入書の場合 新規の場合	月 復 徴 イ	製収し、	納入しる 談当 番号を 記入	ます。 1. 必 な、 0日納入払	分)から 公要 2. 不要 朝限分)
新しい勤務先 2 理 由	特別 牧 収 義 指 定 で 番 所 在 地 名(氏 名 1.異 1.異 1.異 1.異 1.異 1.異 1.異 1.異 1.異 1.異	務有 サ サ 場合 (動が 動が	特徴未 ^{年1} 年1 自分で _{年1}	微収分 2月31日 月1日以 納付) 2月31	を一括 日までで、料 以降で、料	新規の場合 の記入 で 徴収) 一括徴収の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	申出があった。	法 人番 oたため Hがないため ぶないため	号 担当者連絡先	所属 氏名 電話 内線	(====================================	(上記(方) 予定額 ウ)と同都 処無	受給納入書の新規の場合	月 復 徴 イ	製収し、	納入しる	ます。 1. ゼ な、 0日納入 す。	分)から 公要 2. 不要 朝限分)
新しい勤務先 2 理 由 3	特別 収 義者	務有 〒	特徴未 年1: 年1 年1 年2 年1	微収分 2月31日 月1日以 納付) 2月31日 月31日	・を一括 日までで、料 日までで支 までに支 までに支	新規の場合 の記入 で 徴収) 一括徴収の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	申出があっ 継続の申出 さ給与又し	法 人番 かったため 出がないため は退職手当等 た相続人の方に	号担当者連絡先の額がは、	所属 氏名 電話 内線 徴収予定月 月 パネー 大き の で で の で で の で で の で で の で で で の で	日日以下である	(上記(f	予定額 対)と同都 処無	受給納入書の新規の場合	月 復 徴 イ	製収し、	納入しる 藤男を 記入 た税額/ ・ (翌月1) 入しま・	ます。 1. ゼ な、 0日納入 す。	分)から 公要 2. 不要 朝限分)
新しい勤務先 2 理 由 3 理	特別 後収 養 特別 後収 を 特別 で 在 地	務有 サ サ 場合 (動が 動が	特徴未 年1: 年1 年1 年2 年1	微収分 2月31日 月1日以 納付) 2月31日 月31日	・を一括 日までで、料 日までで支 までに支 までに支	新規の場合 の記入 で 徴収) 一括徴収の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	申出があった と続の申出が を給与又して受け取られた で受け取られた が続人の住所	法 人番 かったため 出がないため は退職手当等 た相続人の方に	号担当者連絡先の額はでは、対象のでは、対象をは、対象のでは、	新属 氏名電話 内線 徴収予定月 月	日日以下である	(上記(f) ※ 市町村) 予定額 ウ)と同都 処無	受給納入書の新規の場合	月 復 徴 イ	製収し、	納入しる 藤男を 記入 た税額/ ・ (翌月1) 入しま・	ます。 1. ゼ な、 0日納入 す。	分)から 公要 2. 不要 朝限分)

【 提出先 】 〒253-8686 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号 茅ヶ崎市 市民税課 市民税担当